

## ～利便性の高い公共交通を目指して～

本市は、これまで高度経済成長期の大規模な住宅開発などによる郊外部での人口増加や、産業活動の広域化などに伴う交通需要の増加に対応するため、鉄道やバス路線の新設や運行本数の増便、深夜便の開設などの対応を図りました。しかし、これらの対応を上回る自動車交通の増大による道路渋滞やバス・鉄道利用者の増大により、慢性的な混雑や、バスの定時性が確保できないなど新たな課題が生じました。



そのため、市では関係機関等の協力のもと、都市計画道路の整備、交差点の改良、バスベイの設置などによる渋滞の解消を図るとともに、JR 八王子駅・京王八王子駅を起点としていた多くのバス路線を、JR 西八王子駅や高尾駅への路線に分散させ、路線を再編することで、効率的な運行を確保しました。

今後は、人口減少・超高齢社会にふさわしい公共交通のあり方へ見直すとともに、いかに市民の足を確保し健全に維持していくかが課題となっています。

また、市内には公共交通機関へのアクセスが困難な、山間地域や交通空白地域が存在し、高齢者や障害者等の外出支援を図るため、「はちバス」を運行するとともに、山間地域や交通空白地域において地域と協働で交通空白地域交通事業を行っていますが、今後はこれらを維持していく仕組みや、地域との協働のあり方などが課題となっています。

このような状況を踏まえ、持続可能な地域公共交通ネットワークを図るため「わかりやすく利便性の高い公共交通ネットワークの構築」、「路線バスのサービス強化による利便性の向上」、「多様な交通手段による移動の確保」、「移動困難な方の多様な交通環境の充実」の4つの基本目標を設定しました。

基本目標ごとの施策を総合的にすすめ、より快適で、利便性の高い公共交通のまちづくりを目指します。

本計画は、八王子市交通マスタープランで位置づけられた、公共交通の目指すべき姿を実現するため、公共交通政策を推進することを目的とします。そのため、本計画では市における公共交通の利用実態などを整理したうえで、利便性の高い公共交通となるよう総合的な施策を、関係者と連携し推進していきます。

結びに、「八王子市公共交通計画」の策定にあたり、貴重なご提言をいただきました懇談会参加者の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました多くの市民の皆様に心から感謝申し上げます。

平成 29 年 3 月

八王子市長

たかゆき  
石森考志